

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp

夏休み号

やってみよう！

取り組んでみよう！

挑戦してみよう！

～明日から、夏休みです～

学校長 鈴木 和枝

6月29日に、杉田劇場で「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト磯子区審査会」が開催されました。本校からも6年生の児童が代表として参加し、自身の考えをしっかりと他校の代表児童や保護者、学校関係者に伝えました。その内容は、LGBTQについて考えたことで、「一番大事なのは自分の気持ちや考えを大切にすること、自分自身を大切にすることであり、それができれば世界中のみんなが互いを大切にできると自分は考える」というものでした。このスピーチを聴いた会場内の人の多くが、自分の気持ちを見つめたと思います。

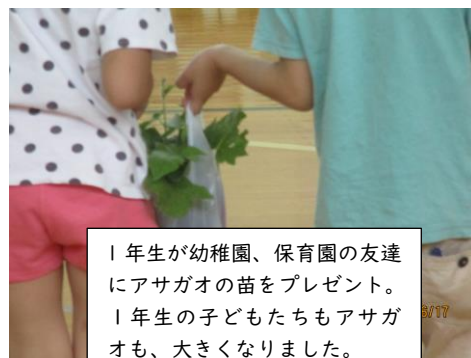
本校では、5、6年の児童一人ひとりが自身でテーマを決め、スピーチ原稿を書き、学級内で代表を決め、その代表児童による校内審査会によって代表児童が決定しています。先に挙げた児童以外のテーマやその内容も、様々なものがありました。例えば、エネルギー問題について知ったことがきっかけで、自分にはもっと何かができるのではないかと考えたスピーチ、飢餓問題について考え、その解決のために、まずは募金をよびかけたスピーチ、リサイクル活動やごみの削減、地産地消に取り組むことで、有限な資源を守り、さらには陸地の豊かさを守ることにつながると訴えたスピーチと、どれも自分が興味をもったテーマについて、調べ、考え、よりよい社会、未来の実現のために自分たちにできることを呼びかけたものでした。

さて、ふり返って考えてみると、このスピーチコンテストに向けての一連の活動は、環境問題やエネルギー問題、食糧問題、人権等々について、5、6年生が向き合う貴重な機会（チャンス）だったのではないかと思います。きっと、「こういうことだったら自分にもできるかもしれない。いや、自分だけじゃなくてみんなでやっていけたらもっとよい。」と考えたに違いありません。

さあ、夏休み。2学期始業日まで、39日間あります。この39日間を、自分にとってのチャンスと捉えてほしいです。さわの里小の児童には、「これをやってみよう！」「こんなことに挑戦してみよう。がんばろう！」という自分への期待の気持ちを膨らませて夏休みに入ってほしいです。そして2学期始業日は、「ほんとうによい夏休みだった。」という思いをもって、元気に会いたい、それが今の私の思いです。

1学期を終えるにあたり、子どもたちの日々の安心安全を守っていただき、支えていただきました地域の皆さま、保護者の皆さま、子どもたちの学びを豊かにしていただいた関係の皆さまには、心より御礼申し上げます。おかげさまで3年ぶりの水泳学習も実施でき、今日で69日間の1学期の学校生活が終了いたしました。

この夏休みの充実が、この後大きく児童が成長する「実りの秋」につながると思っております。今後とも、ご指導、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



1年生が幼稚園、保育園の友達にアサガオの苗をプレゼント。1年生の子どもたちもアサガオも、大きくなりました。